

令和8年3月吉日

保護者の皆様
地域の皆様

世田谷区立中丸小学校
校長 橋口 直美

令和8年度に向けた改善策

(学校関係者評価委員会評価結果の報告を受けて)

世田谷区では、「信頼と誇りをもてる学校の創造」をめざし、学校関係者評価を実施しています。本校も、学校関係者評価委員会を開催し、各委員の皆様から、関係者評価の分析をふまえて、さまざまな視点からの評価や率直なご意見をいただきました。

先日、学校関係者評価委員長 細川 太輔様より、令和7年度の学校関係者評価結果を受けて以下の提言をいただきました。

◎5・6年児童による学校評価より

- ・肯定的評価が増加している
→総合的な学習の時間を中心にした教育活動で一つのものを作り上げていく楽しさを感じているのではないか。

◎保護者・地域による学校評価より

- ・全般的に数値がよくなっている。
→引き続き、様々な方法で保護者が学校のことを理解し、興味をもってもらえるような工夫を続けてほしい。

◎総合所見

- ・児童による評価、保護者・地域による評価が全体的によくなっている。引き続き工夫を行ったほしい。
- ・提言①学校行事の工夫・改善
学校行事を通して、子どもたちが成長する。効果的、効率的な行事のあり方について工夫して行ってほしい。
- ・提言②地域や保護者の学校参加
地域行事などにも子どもが参加できるようになると地域の教育力が活用できる。引き続き地域との協力関係を保ち、地域で子どもが育てられるようにしてほしい。

学校関係者評価委員会にて、改善を図るべき2点についての提言を受けましたので、令和7年の途中ではありますが、すでに改善策を講じております。引き続き令和8年度の改善策を以下の通りご報告いたします。

改善策①

学校行事の工夫・改善

「学校行事を通して、子どもたちが成長する。効果的、効率的な行事のあり方について工夫してほしい」との提言を受け、児童の意欲、学びへの好奇心を最優先に、新たに学校行事を追加するのではなく、今ある行事や教育活動の内容を精査し、教職員に過度の負担がかかることないように行っています。

改善策②

地域や保護者の学校参加

「地域行事などにも子どもが参加できるようになると地域の教育力が活用できる。引き続き地域との協力関係を保ち、地域で子どもを育てられるようにしてほしい」との提言を受け、次年度は、新たな学校を支える組織、「学校運営協議会」を最大限に活用していきます。これまでも中丸小では多くの地域・保護者の方に学校に参加していただきました。新年度は学校運営協議会のもと、さらに多くの地域・保護者の方に支えていただきたいと思います。

学校だよりも、当月の学校の予定だけでなく、その次の月はじめの予定も載せ、より多くの保護者の方、地域の方に御理解御協力をいただけるように令和7年度途中ではありますが、改善を行いました。

子どもの質の高い学びを実現するためには、教職員のウェルビーイングが何よりも大切です。そのため働き方改革を令和8年度も行っています。「大人も子どももウェルビーイング しあわせな中丸小」を掲げ、中丸小の教育活動を通して子どもたちの「自分で自分を育てる力」「未来をつくりだす力」を育み、子どもたちがしあわせと感じる居心地のいい中丸小学校につくっていきます。